

滋賀の環境 2020

(令和2年版環境白書)

(案)

検討中

滋賀県

本書の活用にあたって

滋賀の環境 2020（令和2年版環境白書）は、滋賀県環境基本条例第9条に基づく年次報告書として、同条例第12条に基づき策定した「第四次滋賀県環境総合計画」の進捗状況も含め、滋賀の環境の現況ならびに本県が環境の保全に関して講じた施策および講じようとする施策について公表するものです。

■参考■

過去の環境白書は、滋賀県ホームページ（「環境白書」で検索）をご覧ください。

また、滋賀県庁県民情報室、各環境事務所などの行政情報コーナーや、県内各市町の図書館などで閲覧することができます。

表紙について

検討中

はじめに

知事挨拶

目次

滋賀県の環境施策の方向性

第1章 琵琶湖の保全再生・活用

現況、課題および今後の取組

琵琶湖の保全に係る計画

琵琶湖保全再生施策に関する計画（琵琶湖保全再生計画）／琵琶湖総合保全整備計画（マザーレイク21計画）

琵琶湖の水質

水質の目標／平成30年度調査結果／琵琶湖の環境基準達成状況（平成30年度）／琵琶湖水質の平面分布／琵琶湖の水深別水質調査／水浴場水質調査結果

湖沼の富栄養化

淡水赤潮／アオコ（水の華）

河川の水質

河川環境基準監視調査／河川の水質の経年変化

湖沼・河川の水質保全対策

湖沼水質保全対策／「琵琶湖流域水物質循環モデル」の構築／発生源別にみた琵琶湖に流入する負荷量／特定水域に対する取組／新たな水質管理手法の構築

琵琶湖流域生態系の保全・再生

外来魚の駆除／琵琶湖の水草／琵琶湖漁業再生ステップアッププロジェクト事業／セタシジミ復活プロジェクト／滋賀県ピオトープネットワーク長期構想／水辺エコトーンマスタープラン／内湖再生全体ビジョン／早崎内湖再生事業／ヨシ群落の保全

暮らしと琵琶湖の関わりの再生

琵琶湖ルール取組の取組／取り戻せ！つながり再生モデル構築事業／「びわ湖の日」の取組／琵琶湖保全再生に向けた活用のあり方／エコツーリズム推進支援事業

琵琶湖・淀川流域圏での取組

琵琶湖・淀川流域圏の連携交流の促進／琵琶湖・淀川流域圏の再生

第2章 生物多様性の確保・森林の多面的機能の発揮

現況、課題および今後の取組

生物多様性しが戦略

野生生物との適切な関係の構築

野生生物の保護／外来種を含む野生生物の管理

生息・生育環境の改善

緑地環境保全地域・自然記念物／自然公園の指定／鈴鹿生態系維持回復事業／伊吹山の自然再生／びわこ地球市民の森／豊かな生きものを育む水田／多自然川づくり／琵琶湖湖辺域保全・再生の基本方針

琵琶湖森林づくり基本計画

森林づくりの推進

琵琶湖森林づくり県民税／「緑の募金」活動の推進／環境に配慮した森林づくりの推進／巨樹・巨木林の保全／県民の協働による森林づくりの推進／企業の森づくり／次代の森林を支える人づくりの推進

水源涵養対策の推進

林地の保全／水源森林地域の保全（滋賀県水源森林地域保全条例）／農地の保全／砂防事業の推進

第3章 気候変動

現況、課題および今後の取組

低炭素社会づくりに向けた条例と計画

滋賀県低炭素社会づくりの推進に関する条例／滋賀県低炭素社会づくり推進計画

「産業部門」「業務部門」の施策

低炭素社会づくり推進条例に基づく事業者行動計画書制度／低炭素社会に対応する企業活動への支援

「家庭部門」の施策

地球温暖化防止活動推進センター／地球温暖化防止活動推進員／地球温暖化防止「COOL CHOICE」ポスター募集

「運輸部門」の施策

次世代自動車等の普及促進／エコドライブの推進

二酸化炭素吸収源としての森林

滋賀県森林CO₂吸収量認証制度

気候変動の影響に対する「適応策」の推進

エネルギー政策の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
新しいエネルギー社会づくりの総合推進 / 地域の活性化等に資するプロジェクトの再生可能エネルギー利用の取組
支援 / 事業所における再生可能エネルギー等の導入促進 / スマート・エコハウスの普及促進 / 農村地域における小水
力発電等の導入促進 / 県営姉川ダムにおける水力発電事業 / 企業庁浄水場のポンプ群制御によるアグリゲーター事
業の検討・構築

第4章 環境リスク

現況、課題および今後の取組・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
水・土壌環境保全対策の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
工場・事業場排水対策の推進 / 土壌・地下水汚染対策の推進
大気環境保全対策の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
大気汚染状況の把握 / 大気環境調査の実施 / 微小粒子状物質（PM2.5）対策 / 工場・事業場からの排出ガス対策
 / 石綿（アスベスト）飛散防止対策 / オゾン層保護対策 / 酸性雨
化学物質対策の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
化学物質による環境リスク対策の推進 / ダイオキシン類対策
騒音・振動・悪臭対策の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
騒音・振動対策 / 悪臭対策
自主管理の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
環境自治が根付いた社会へ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
公害苦情および公害審査会 / 環境自治委員会

第5章 循環型社会

現況、課題および今後の取組・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
3R（発生抑制、再使用、再生利用）等の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
循環型社会形成のための法律等 / 滋賀県廃棄物処理計画 / リサイクル製品認定制度（ピワクルエコショップ） /
家畜排せつ物の現状と対策 / 自動車リサイクルの推進 / 容器包装リサイクルの推進
廃棄物の適正処理の確保・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
滋賀県産業廃棄物税 / 一般廃棄物対策の推進 / 災害廃棄物処理対策の推進 / 産業廃棄物対策の推進 / PCB 廃棄物
の期限内処理の推進 / 不法投棄対策の推進 / クリーンセンター滋賀の運営 / 旧 RD 最終処分場問題対策の推進
環境美化の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
散在性ごみ対策の推進 / 淡海エコフォスター制度

第6章 環境学習

現況、課題および今後の取組・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
滋賀県環境学習推進計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
乳幼児や小中高生への取組・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
木育推進事業 / 幼児自然体験型環境学習 / 森林環境学習「やまのこ」 / びわ湖フローティングスクール「うみの
こ」 / 農業体験学習「たんぼのこ」 / ラムサールびわっこ大使 / 琵琶湖環状線小学生体験学習プログラム支援事
業 / こどもエコクラブ / 環境美化の日における活動 / 農畜水産業の理解促進事業 / 低炭素社会づくり学習支援事
業 / エコ・スクール支援事業 / 環境教育副読本の活用
環境学習の場や機会づくり・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
琵琶湖博物館環境学習センター / 琵琶湖博物館 / フィールドレポーター（市民参加型調査活動） / 駅を利用した
琵琶湖一周ウォーキングの支援 / 生物多様性に関するエコツアーや自然観察会の開催
環境学習を担う人材の育成と活用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
しが環境教育研究協議会 / 「地域の力を学校へ」推進事業 / 近江環人地域再生学座 / 環境学習活動者交流会 / 環境
学習情報ウェブサイト「エコロシーガ」 / 滋賀県学習情報提供システム「におねっと」

第7章 環境とのつながり・関わり

現況、課題および今後の取組・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
環境にやさしいライフスタイルの推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
グリーン購入の推進 / 消費者教育の推進 / 「おいしが うれしが」キャンペーンの推進 / 食品ロスと買い物ごみ
削減の推進 / 省エネ・節電提案会、うちエコ診断の実施 / エコ交通の推進 / にぎわいのまちづくり総合支援事業
 / 滋賀らしい環境こだわり住宅の普及促進 / 森林資源の循環利用の促進 / 県産材の利用促進
環境と調和する経済活動の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
琵琶湖の保全の取組を生かしたビジネス展開 / びわ湖環境ビジネスメッセの開催 / 低炭素社会づくりへの製品等

を通じた貢献量評価の推進／貢献量評価に基づく「しが発低炭素ブランド認定」／滋賀エコ・エコノミー推進事業／滋賀応援寄附の推進／環境こだわり農業の推進／世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策／環境影響評価制度

湖国の景観・文化遺産の保全・・・
風景条例に基づく景観施策／文化的景観の保護と活用／田園地帯の景観の形成／棚田保全ネットワーク推進事業／沿道景観の創造／歴史的文化遺産／ふるさと文化財の森

第 8 章 環境インフラ等

下水道・排水の取組・・・
生活雑排水対策の推進／下水道の整備／下水道事業の持続可能な経営／下水処理にかかるエネルギー効率の向上／浄化槽の整備／市街地排水浄化対策事業の実施／農業集落排水処理施設の整備／農業排水対策の推進／河川浄化事業の実施
森林を守る治山事業・・・

第 9 章 調査研究・技術開発

調査・研究の推進と成果の活用・・・
琵琶湖環境研究推進機構／琵琶湖環境科学研究センター／琵琶湖博物館

第 10 章 国際的な協調と協力

世界の水問題への貢献・・・
（公財）国際湖沼環境委員会（ILEC）／第 17 回世界湖沼会議／世界水フォーラムへの参加／汚水処理分野における技術協力

第 11 章 滋賀県庁環境マネジメントシステム

システムの概要・・・
システムの特徴／滋賀県環境経営会議
環境方針・・・
基本理念／基本方針

巻末資料

巻末資料① 事業の進捗状況・・・

巻末資料② 滋賀県・琵琶湖の特徴

滋賀県の特徴・・・
産業構造／人口の変化
琵琶湖の特徴・・・
琵琶湖の価値・・・
古代湖としての価値／水源としての価値／水産業の場としての価値／ラムサール条約登録湿地としての価値／観光資源としての価値／学術研究の場としての価値／祈りと暮らしに関わる遺産としての価値

巻末資料③ 滋賀の環境のあゆみ・・・

お問い合わせ先

＜トピックス＞

- 琵琶湖の全層循環と底層 DO の状況・・・
- 水草等対策技術開発支援事業・・・
- 第 72 回全国植樹祭の開催に向けた県内全域・県民総ぐるみでの機運醸成の取組
～ピワイチ森づくり事業～・・・
- 「しが CO₂ ネットゼロ」ムーブメント・・・
- しが CO₂ ネットゼロまちづくりの推進・・・
- 「やまの健康」推進プロジェクトの推進・・・
- 琵琶湖と共生してきた滋賀の農林水産業が「日本農業遺産」に！
環境にやさしい持続的な営みとして「世界農業遺産」の認定にも申請中です。・・・

滋賀県の環境政策の方向性 ～第5次滋賀県環境総合計画の策定～

本県が有する琵琶湖をはじめとした豊かな環境を保全・再生し、次の世代に引き継いでいくためには、相互に関連し合う様々な環境課題に対して、総合的かつ計画的に環境保全施策を展開していく必要があります。

そのため本県では、平成31年3月に、第5次滋賀県環境総合計画（計画期間：平成31年度～令和12年度の12年間）を定め、目指すべき将来像や基本目標などを示し、第1章以降に掲載する各分野の計画や具体的な施策を展開しています。

目指すべき将来像

琵琶湖をとりまく環境のめぐみといのちを育む
持続可能で活力あふれる循環共生型社会

新たに策定した「第5次滋賀県環境総合計画」では、目指すべき将来像を「琵琶湖をとりまく環境のめぐみといのちを育む持続可能で活力あふれる循環共生型社会」としています。

環境に影響を与える要因は、複雑化・多様化してきており、その一因として、経済・社会の中で自然の恵みが十分に活用されなくなってきたことにより、あらゆる物質の健全な循環が滞ってきていることが考えられます。

このため、これまでの「いかに環境負荷を抑制するか」という視点だけでなく、人間が「いかに適切に環境に関わるか」という、より広い視点を取り入れ、計画の目標を

「環境と経済・社会活動をつなぐ健全な循環の構築」としています。

この「健全な循環」とは、里山や琵琶湖の周辺などにおいて成り立ってきた森林資源や在来魚介類などの地域資源を、地産地消などの取組により、人、財、製品、サービスとして地域内で循環するとともに、異なる地域が、地域資源を介して他の地域と相互に支えあう関係をつくることと考えています。



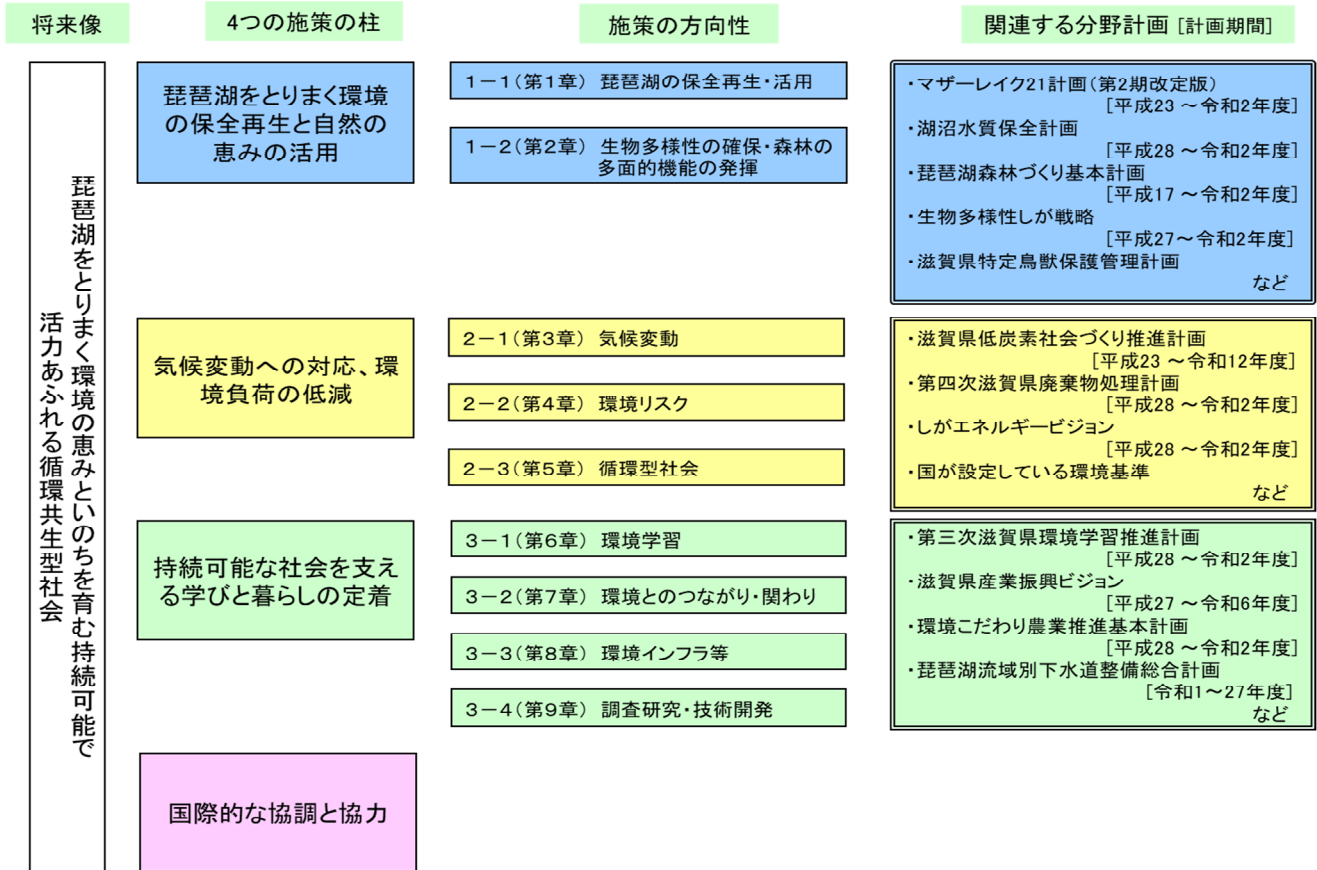
環境と経済・社会活動をつなぐ健全な循環

取組の方向性

目指すべき将来像を実現するため、環境・経済・社会を統合的に捉える「持続可能な開発目標（SDGs）」の考え方を踏まえ、「生態系・自然界における循環」のもとで生み出される自然の恵みを「経済・社会活動」において適切に活用する必要があります。

本計画では①共生、②「守る」「活かす」「支える」、③協働の三つの視点を通して、4つの施策の柱のもと、10の分野ごとに「施策の方向性」を定め、分野別の施策・取組を着実に進めていきます。

また、異なる分野の施策間の関係性を認識し、分野をまたいだより一層の連携により、施策・取組の相乗効果を高めていくことが必要と考えています。



持続可能な開発目標（SDGs）とは

持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）とは、前身であるミレニアム開発目標（MDGs：Millennium Development Goals）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。17の目標と169のターゲットから構成され、「経済」「社会」「環境」のバランスを取りながら持続可能な世界を実現するための目標です。

SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組むこととしています。滋賀では、近江商人の「三方よし」の思想があり、この考え方はSDGsの精神と合致しています。

本書では、施策の方向性の各章に関連するSDGsを示しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



第五次滋賀県環境総合計画の点検について背策の方向性ごとに点検・評価を記載